

教育調査集計結果

保護者の皆様のご協力のおかげで、教育調査の集計が終了しました。本年度は95.9%という高い回収率で、保護者の皆様の学校に対する期待の大きさを改めて感じました。肯定率の平均は73.8%（前年比+2ポイント）で若干肯定率が高くなりました。一昨年度より、学校独自の設問を4問（17～20）設け、学校の特色に合わせた評価を実施しています。新設した4問の肯定率の平均は74.1%と特色に対する肯定率も、全体の肯定率とほぼ同程度でした。

これらの結果を受け来年度に向け以下のことに力を入れてまいります。

○自信をもって積み重ねてきたことに取り組む

これまで、新指導要領の完全実施に向けて、「学びの構造改革」に取り組んできました。授業は目に見えて変わり、「主体的・対話的で深い学び」に大きくシフトしています。そのことを常に意識して授業に臨み、積み重ねていくことが大切です。肯定率が低かった設問のいくつかは、学習の際に一言、子供たち確認することで意識が変わるものもあります。

学習活動の内容を、価値あるものとして位置付けるためにも「意識付け」につながる一言は大切にしていきます。

○意識改革を

学びの構造改革を重点課題とし、教員は授業の組み立てを考えてきました。子供たちも、教師の「問い」をもたせる仕掛けにしっかりと応え、自ら課題をもち、考えを伝えあうことで自分の学習を深め、広げ主体的に学習に参加している実感をもつようになりました。教師が本気になって意識をすれば、必ず子供たちにその思いは伝わります。

意識改革。何事も本気になればできる。そのことにこれからも挑戦していきます。そして、その輪の中に、地域・保護者が入るようするにはどうするか？ということ、今後もしっかりと考え、取り組んでいきます。

No.	領域	観点	保護者	児童	教員
1	学校 経営	学校生活全般	86.0		
2		一貫教育異校種の協働	40.4		64.7
3		連携校の教員の協力			41.2
4		学校評価	63.0		88.2
5	学級経営		86.4	71.4	
6	学習 指導	個に応じた指導		34.3	88.2
7		学習成果の実感	87.2	80.0	100.0
8		学習評価	77.0	64.3	88.2
9		教材教具（ICT）	76.6	90.0	100.0
10		系統的・連続的指導		62.9	76.5
11	道徳教育		84.3	75.7	
12	体育・健康教育		83.0	47.1	
13	特別 支援 教育	研修・理解啓発	53.2		
14		合理的配慮の提供 社会的包摂			94.1
15		校内委員会 個別教育支援計画			94.1
16		個別指導計画			94.1
17	地域と共に在る学校		77.9	46.4	76.5
18	学力向上		64.3	42.0	88.2
19	松ノ木スタンダード		80.3	69.6	88.2
20	地域と共に在る学校		73.9	56.5	
計			73.8	61.7	84.5